

U.S. HARDWOOD INFORMATION

AMERICAN HARDWOOD EXPORT COUNCIL (AHEC) No.36 JULY 2022

IFFT interiorlifestyle Living in Tokyo 2021

2年ぶりに開催のIFFTインテリアライフスタイルリビングに出展



2020 年は新型コロナウイルスの感染拡大により中止となった「IFFTinteriorlifestyle living」は、2021 年 10 月 18 日(月) \sim 20 日(水)の3 日間、東京ビッグサイトで開催されました。

弊協会は「アメリカ広葉樹プロジェクト-Red Oak & Hickory」を展開して参加しました。このプロジェクトは、アメリカ広葉樹の中でも日本では未だそれほど使われていない樹種である Red Oak と Hickory の良さを家具、内装材、フロアーといった使用事例の展示によってアピールすることで、新しい需要を開拓しようというものです。背景には、世界的な需要の高まりによって価格が高騰した日本でも人気のある Walnut と White Oak への対応や需給のバランスによる供給の安定化の狙いもあります。

使用事例の製作にご協力いただいたのは 福岡県大川市と佐賀県佐賀市(諸富)の家具 メーカー3社、それに広島県福山市のキッチ ンキャビネットメーカーと北海道小樽市の 内装材メーカーの5社です。

実際に素材を使った各社の感想ですが、 Red Oak については、各社共に普段からお使 いいただいていたようで、加工性も良く、材 の安定供給が可能なこと、無垢材の使用をア ピールできると好評でした。また幅の広い材 が入手可能なのも大きなメリットという声 も聞かれました。

Hickory についてはほとんどの方が今回初めてお使いのようでしたが、杢理の表情が豊かで、キャラクターマークを多く含むため無垢材の素朴な雰囲気を伝えやすい。強度があり、塗装もすっきり仕上がる一方で、重量

があるため機能性やデザインに工夫が必要、 厚材(36mm や 48mm)があればもっと使い勝 手がいいのにという意見もありました。

「2021 年 IFFT interiorlifestyle living」への来場者は3日間で11,083名。会場で配布されたパンフレットをご希望の方は弊協会ホームページよりお申込みください。無料です。



アメリカ広葉樹プロジェクト:レッドオーク&ヒッコリー Red Oak and Hickory



今回のプロジェクトで取り上げた Red Oak と Hickory は、日本で未だあまり活用されていないアメリカ広葉樹です。

Red Oak は米国東部の広葉樹林の最大樹種群で量的には White Oak よりも豊富です。 Red Oak と呼ばれる樹種は多数ありますが、その内 8 樹種が現在市場に流通しています。 Red Oak の名は見事な紅葉に由来しているわけですが、逆にその名から色味も赤いのではと敬遠されていたきらいがあります。 White Oak は、その名から Red Oak より色が薄く感じますが、 White Oak は茶褐色系で Red Oak はピンクがかった赤褐色系であり、実際にはそれほど大きな差ではなく、仕上げ加工すればさらに見分けにくくなります。 加工性や仕上がりの良さから用途も広く、 家具、フローリング、造作材、階段材など何 にでも使えます。しかも量が豊富なため木目 が均一で幅広の長尺材も入手しやすく世界 中で人気が高まっています。

一方、Hickory はアメリカ広葉樹の中でもずば抜けた強度を持ち、せん断応力とひずみ応力の両方に耐えられるためカーボンやグラファイトが主要素材になるまではテニスラケット、弓、ラクロススティック、ゴルフクラブのシャフト、スキーなどのスポーツ用品に多用されていました。強度と耐衝撃力の高さは斧、シャベル、つるはしなど長い柄の工具のハンドルに現在も活用されています。

心材と辺材の色のコントラストが極端な

ため、家具やフローリング向けではないとされていましたが、現在はかえってナチュラルで自然感に富んだ表現ができると色のコントラストの強い材に人気があり、その硬度と耐久性を生かしてフローリングやキャビネットに多く使われています。ただ成長速度が遅いため 4/4"の厚さが一般的で 5/4"以上の在庫が多くないこと、重くて硬いため加工に技術を要するなどの問題もありますが、展示作品のようにサンダー加工やつや出しで非常に美しく仕上がります。米国北部ではヒッコリー、南部ではピーカンと呼ばれていますが、材質は実質的に同じです。

そして、今回のプロジェクトで Red Oak と Hickory を用いて製作された家具や建具を目





平田椅子製作所 上 椅子 天板 Red Oak、脚 White Ash 下 椅子 Red Oak、テーブル Hickory





レグナテック 上 ソファー、テーブル(奥) Red Oak 丸テーブル Hickory 下 サイドボードいずれも Red Oak





新宮商行 左 ドア Hickory 右 ドア Hickory×Red Oak





IFFT 会場で米国農産物貿易 事務所所長と米国大使館 農務官が記者会見

米国農産物貿易事務所(ATO)のチャンダ・ バーク所長と大使館のマリア・ラホスカヤ 農務官は、会期中に弊協会ブースを訪問。







会見中のバーク ATO 所長(中)とラホスカヤ農務官(左)

にした来場者からは、各作品の素晴らしい仕上がりと共に自然感豊かな素材に賛辞が贈られていました。とくに Hickory に関しては、ほとんどの方が初めて目にされる樹種であり、芯材と辺材の色目のコントラストの美しさに、こんな樹種があったのかという声が多く聞かれ、弊協会としては今回のプロジェクトが新しい需要に繋がることを確信しました。

左 丸庄 上テーブル Hickory、椅子 Red Oak 下ソファー Hickory、テーブル Hickory 右 福山キッチン装飾 上キャビネット

上段 扉 Hickory 下 下段扉 Red Oak

今回の AHEC のプロジェクトにより日本市場での Red Oak と Hickory の需要の拡大に期待している。いずれも入手しにくい樹種ではなく、使われていない樹種の提案であり、持続可能で安定供給が可能である。 Hickory は馴染みがないと思うが、展示作品を見てもらえば美しい仕上がりに満足頂けると思うと話した。

静岡でアメリカ広葉樹懇談会を開催

アフターコロナの家具市場、広葉樹市場 について活発に意見を交換

2019 年に端を発した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、アメリカ広葉樹輸出協会(AHEC)のプロモーション活動は大きな制約を受けています。そんな中、弊協会は感染者が激減した2021年11月25日(木)に東海地方の木材と家具の集積地、静岡県静岡市に木材輸入問屋の北日本木材(株)、北洋木材工業(株)、(株)丸福材木店、家具メーカーの起立木工(株)、ボーボワの各代表者の方にお集まりいただき懇談会を開催しました。ご参加いただいた木材輸入問屋、家具・木工メーカーはいずれも静岡県に本社または支店を有し、新型コロナウイルス感染症終息後の家具市場や広葉樹市場の見通しや業界の取組みに関し熱心な意見交換が行われました。

木材輸入問屋の内、北日本木材(株)と北洋木材工業(株)はいずれも北海道に本社があり、以前はロシア材の輸入を主流にされていましたが2006年のロシアのワシントン条約加盟以降、ロシア産広葉樹の原木の入荷が極端に減ったため、アメリカ広葉樹製材の輸入販売をメインに切り替えられました。北日本木材(株)からは、2020年以降アメリカ広葉樹の主要樹種であるWhite Oakの仕入れが難しくなっていると問題提起がありました。

地元企業である(株)丸福材木店は従来南洋 材を主に輸入されていましたが主力のラワン材がほとんど入荷しなくなり、安定供給可



昨年同様、マスクスタイルで開催された懇談会風景

能なアメリカ広葉樹製材にシフトされました。いずれもコロナ禍とは直接関係ありませんが、日本の輸入木材の供給状況が大きく変わりつつあると共にアメリカ広葉樹製材の安定供給性が高く評価されていると言えそうです。

新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛や在宅勤務の増加は家具メーカーにも大きな影響を与えています。起立木工(株)からは、ホームオフィス用の安価な家具はネット販売で売り上げを伸ばしているが、店頭への来客の減少により2020年の同社の

売上高は前年比で約20%減少した。ただ感染の拡大が収まり出すとリベンジ消費の影響により高級家具が売れ始めているという。

同じく家具メーカーのボーボワでは主として Hard Maple と Cherry を用いているため昨今の White Oak と Walnut の価格高騰の影響は受けていないとのことであった。欧州へ家具を輸出している同社では高額な家具の輸出が伸びており、欧州においてもコロナ禍による在宅時間の増加が住宅空間やインテリアへの関心を高めているようです。

アメリカ広葉樹輸出協会 American Hardwood Export Council(AHEC) 〒530-0047 大阪市北区西天満2-11-5 アメリカ総領事館内 https://www.ahec-japan.org